

理科の評価

1. 評価のねらい

個々の児童の学習成果や児童全体の進歩の程度を知り、事後の指導の在り方についての資料を得て、これを手がかりとして指導計画や指導方法に改善を加えて、指導の効果をより一層高める。

2. 評価の観点

(1) 指導計画について

- ① 学校の教育目標との関連を図り、指導要領に示されている目標を検討し、指導内容の展開と系統が考慮されている。
- ② 学校や児童の実態に即して具体的な到達点や強調点を明確にし、基礎的な内容の重点化が図られている。

③ 単元の配列に当たっては、互いに関連して学習経験が有効に生かされ、指導が深められるように、その順序が考慮されている。

④ 安全管理と安全指導について、平素から対策を講じ、事故を未然に防ぐように配慮されている。

(2) 指導方法について

- ① 目標達成のため望ましい指導形態が工夫されている。
- ② 事物・現象に親しませ、感覚を生かし、進んでとりくむように指導されている。
- ③ 教材・教具は目標や児童の実態を考慮して準備され、効果的に活用されている。
- ④ 学習にともなう事故を予想し、安全についての適切な配慮・指示がなされている。

3. 授業の展開と評価の観点〔事例〕 電じしゃく

探究の過程	学 習 活 動	評 価 の 観 点
問題と予想 仮説と推測	前時の確認 予想・推量・仮説	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 学習の目標が児童各自に明確化されているか。 ◦ 学習のレディネスを考慮して計画されているか。
検証する 条件の統制 仮説の修正 結果の整理	観察する 測定する 条件の対比 検証推論	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 条件・方法・装置などの共通理解ができているか。 ◦ 適切な時に発問したり指示を与えているか。 ◦ 学習中の事故防止や安全について配慮されているか。 ◦ 児童の興味や関心を高めるように考慮されているか。
結果の解釈 表現と伝達	規則の発見 図示・文章化	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 予想・仮説と検証結果を結びつけて考えさせているか。 ◦ 一校時の学習として、学習の量は適切であったか。